

第8回全国書写書道総合大会
令和元年度ひらがな・かきかたコンクール

【文部科学大臣賞】

千葉県・浦安市立明海南小学校3年
池田 乃彩

文部科学大臣賞をいただいて

私は聖徳大学附属浦安幼稚園に通っている年中の時に、桑島先生の書道教室に入会しました。

始めは文字が書けるようになりたいという気持ちで、先生から出された課題を毎週お稽古していました。しかしなかなか上達することができず、やめてしまおうかと思うこともありました。当時のことを振り返ると母も書道教室をやめても良いのではと思っていたようです。

しかし小学校に入学し、幼稚園のころより文字を書くことが多くなり、友達の文字を見る機会も増え、自分の名前を上手に書きたい、これだけは誰にも負けたくないと思うようになりました。

上手になるために、私は毎日繰り返し何度も何度もお手本を見て名前を練習しました。たくさん練習すればするほど上手になることがわかり、上手になると周囲の人たちから褒められ、書くことが楽しく嬉しくなりました。

名前が美しく上手に書けたら今度は他のひらがな、カタカナ、漢字も上手になりたいと練習を始めました。その成果は1年後に「ひらがなかきかたコンクール」で『全日本書写教育研究会賞』というかたちで現れました。

去年は受賞者の交流会に参加するために中野のゼロホールに行き、文部科学大臣賞を始め各賞の優秀作品を観て、私はもっともっと上手になりたいと1年間練習にはげみ、今年に文部科学大臣賞という素晴らしい賞をいただくことができました。

これからも練習を重ね、硬筆と毛筆で自分で納得のいく文字が書けるようになりたいと目標を決めて努力していきます。